

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成28年3月10日 (2016.3.10)

【公表番号】特表2016-503053(P2016-503053A)

【公表日】平成28年2月1日 (2016.2.1)

【年通号数】公開・登録公報2016-007

【出願番号】特願2015-549338(P2015-549338)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/24 (2006.01)

A 6 1 Q 11/00 (2006.01)

A 6 1 K 8/22 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/24

A 6 1 Q 11/00

A 6 1 K 8/22

【手続補正書】

【提出日】平成27年12月21日 (2015.12.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の pH を有する過酸素化合物を含有する第 1 成分と、

第 2 の pH を有する ピロリン酸の 2 以上の塩の混合物 を含有する第 2 の成分とを、含有し、

前記第 2 の pH が第 1 の pH より高くかつ 10.0 未満であり、

第 1 の成分と第 2 の成分とを組合せた時に、第 1 の成分と第 2 の成分が pH 7.5 ~ 8.5 を有する歯 - ホワイトニング組成物を形成し、

第 1 の成分の pH が 7.0 以下であり、

および第 2 の成分がピロリン酸四ナトリウムおよびピロリン酸二ナトリウムを 20 : 1 ~ 1 : 20 の比率で含有する二成分オーラルケアシステム。

【請求項 2】

第 2 の成分がピロリン酸四ナトリウムおよびピロリン酸二ナトリウムを 17 : 1 ~ 1 : 17 の比率で含有する請求項 1 記載のオーラルケアシステム。

【請求項 3】

第 1 の成分と第 2 の成分を組合せた時に、約 pH 8.0 を有する歯 - ホワイトニング組成物を形成する請求項 1 または 2 記載のオーラルケアシステム。

【請求項 4】

第 1 成分が 1 % 未満の遷移金属イオン、金属酸化物（例えば二酸化チタンまたは二酸化マグネシウム）を含有する請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載のオーラルケアシステム。

【請求項 5】

第 1 成分が 0.1 % 未満の遷移金属イオン、金属酸化物（例えば二酸化チタンまたは二酸化マグネシウム）を含有する請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載のオーラルケアシステム。

【請求項 6】

第 1 成分が遷移金属イオン、金属酸化物（例えば二酸化チタンまたは二酸化マグネシウム）を実質上有さない請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載のオーラルケアシステム。

## 【請求項 7】

第 1 成分の pH が 1.0 ~ 7.0 である請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載のオーラルケアシステム。

## 【請求項 8】

第 1 成分の pH が 4.0 ~ 7.0 である請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載のオーラルケアシステム。

## 【請求項 9】

第 1 成分の pH が 4.0 ~ 6.8 である請求項 1 ~ 8 のいずれかに記載のオーラルケアシステム。

## 【請求項 10】

第 1 成分の pH が 4.5 ~ 5.5 である請求項 1 ~ 9 のいずれかに記載のオーラルケアシステム。

## 【請求項 11】

第 1 成分の pH が 4.8 ~ 5.2 である請求項 1 ~ 10 のいずれかに記載のオーラルケアシステム。

## 【請求項 12】

第 1 成分の pH が約 5.0 である請求項 1 ~ 11 のいずれかに記載のオーラルケアシステム。

## 【請求項 13】

第 2 の成分の pH が 7.1 ~ 9.0 未満である請求項 1 ~ 12 のいずれかに記載のオーラルケアシステム。

## 【請求項 14】

第 2 の成分の pH が 7.5 ~ 9.0 未満である請求項 1 ~ 13 のいずれかに記載のオーラルケアシステム。

## 【請求項 15】

第 2 の成分の pH が 7.5 ~ 8.5 である請求項 1 ~ 14 のいずれかに記載のオーラルケアシステム。

## 【請求項 16】

第 2 の成分の pH が約 8.0 である請求項 1 ~ 15 のいずれかに記載のオーラルケアシステム。

## 【請求項 17】

過酸素化合物が過酸化物、過ホウ酸塩、過炭酸塩、過硫酸塩、過リン酸塩、過珪酸塩、過酸およびそれらの組合せの一つ以上から選択される請求項 1 ~ 16 のいずれかに記載のオーラルケアシステム。

## 【請求項 18】

過酸素化合物が過酸化物である請求項 1 ~ 17 のいずれかに記載のオーラルケアシステム。

## 【請求項 19】

過酸素化合物が過酸化水素である請求項 1 ~ 18 のいずれかに記載のオーラルケアシステム。

## 【請求項 20】

過酸素化合物が歯ホワイトニング組成物の総重量に基いて 0.01 ~ 20 重量%の量で存在する請求項 1 ~ 19 のいずれかに記載のオーラルケアシステム。

## 【請求項 21】

過酸素化合物が歯ホワイトニング組成物の総重量に基いて 0.01 ~ 10 重量%の量で存在する請求項 1 ~ 20 のいずれかに記載のオーラルケアシステム。

## 【請求項 22】

過酸素化合物が歯ホワイトニング組成物の総重量に基いて 0.01 ~ 7.5 重量%の量で存在する請求項 1 ~ 21 のいずれかに記載のオーラルケアシステム。

## 【請求項 23】

過酸素化合物が歯ホワイトニング組成物の総重量に基づいて 0.01 ~ 3 重量% の量で存在する過酸化水素である請求項 1 ~ 2 2 のいずれかに記載のオーラルケアシステム。

【請求項 2 4】

歯ホワイトニング組成物がマウスウォッシュである請求項 1 ~ 2 3 のいずれかに記載のオーラルケアシステム。

【請求項 2 5】

第 1 の pH が酸性であり、

第 2 の pH はアルカリ性であり、

第 1 および第 2 の成分の組合せの pH がアルカリ性であり、

第 2 の成分が緩衝剤の働きをし、

第 1 および第 2 の成分の組合せが第 2 の成分の pH 以下である pH を有する請求項 1 ~ 2 4 のいずれかに記載のオーラルケアシステム。

【請求項 2 6】

第 1 の成分の粘度が第 2 の成分の粘度より小さい請求項 1 ~ 2 5 のいずれかに記載のオーラルケアシステム。

【請求項 2 7】

第 1 の成分の粘度が第 2 の成分の粘度と同じである請求項 1 ~ 2 6 のいずれかに記載のオーラルケアシステム。

【請求項 2 8】

歯をホワイトニングする方法において使用するためのものであって、方法が

過酸素化合物を含有し第 1 の pH を有する第 1 の成分と、

第 2 の pH を有する ピロリン酸の 2 以上の塩の混合物 を含有する第 2 の成分とを、組み合わせ、

その際に第 2 の pH が第 1 の pH より高くかつ 10.0 未満であり、

これにより pH 7.5 ~ 8.5 を有する歯 - ホワイトニング組成物を形成し、

第 1 の成分の pH が 7.0 以下であり、

および第 2 の成分がピロリン酸四ナトリウムおよびピロリン酸二ナトリウムを 20 : 1 ~ 1 : 20 の比率で含有する請求項 1 ~ 2 7 のいずれかに記載のオーラルケアシステム。

【請求項 2 9】

歯 - ホワイトニング組成物が第 1 の成分と第 2 の成分とを組合せて 5 分以内に歯に適用される請求項 1 ~ 2 8 記載の オーラルケアシステム。

【請求項 3 0】

歯 - ホワイトニング組成物が第 1 の成分と第 2 の成分とを組合せて 3 分以内に歯に適用される請求項 1 ~ 2 9 のいずれかに記載の オーラルケアシステム。

【請求項 3 1】

歯 - ホワイトニング組成物が第 1 の成分と第 2 の成分とを組合せて 2 分以内に歯に適用される請求項 1 ~ 3 0 のいずれかに記載の オーラルケアシステム。

【請求項 3 2】

歯 - ホワイトニング組成物が第 1 の成分と第 2 の成分とを組合せて 1 分以内に歯に適用される請求項 1 ~ 3 1 のいずれかに記載の オーラルケアシステム。

【請求項 3 3】

歯 - ホワイトニング組成物が第 1 の成分と第 2 の成分とを組合せて 30 秒以内に歯に適用される請求項 1 ~ 3 2 のいずれかに記載の オーラルケアシステム。

【請求項 3 4】

歯 - ホワイトニング組成物が第 1 の成分と第 2 の成分とを組合せて 15 秒以内に歯に適用される請求項 1 ~ 3 3 のいずれかに記載の オーラルケアシステム。

【請求項 3 5】

請求項 1 ~ 2 7 のいずれかに記載の二成分オーラルケアシステムの歯のホワイトニングのための使用。